

男女共同参画情報誌

# じょいんと

じょいんと

Vol.19

2012年・春

- 男女共同参画フォーラム開催
- 市長インタビュー特集



周南市

# だん じょ きょう びろ さん かく 男女共同参画フォーラム

きずな  
絆 ~ 共に認めさせ合う希望の環 ~

**講師** 広岡 守穂さん (中央大学法学部教授)  
**演題** 「男と女 絆を深めて」

**概要** 中学時代の同級生と大学の時に学生結婚をし、5人の子どもが生まれました。最初の子が生まれたときに強く思ったのは、「家族を助けていくのは自分だ」ということでした。2人目の子どもが生まれた頃から、妻が育児の愚痴をこぼし始めました。「母親というものは、子どもと一緒にいることがハッピーだ」という私の思い込みから、妻に対しての劣いという意味で考えたことは「家族サービス」であり、家族で「気晴らし」に出かけることでした。でも、妻が望んでいたのはそんなことではありませんでした。妻は、日々子育てをすることで、「自分育て」ができていないことに不安を感じていたので。子育ては、喜びもあるけれどやっぱり辛い。それは今も昔も変わりません。その大変さや辛さをちゃんと伝え、夫は、それに耳を傾けてしっかり聴くことが必要です。妻をバックアップするのは夫しかいないのです。男女共同参画とは、夫は妻の、妻は夫の、また職場は社員の「自分育て」を支えることだと思います。

あわせて、女だから…、年をとり過ぎていてから…、障害があるから…、外国人だから…など、そういう理由でその人の「自分育て」を妨げることがあってはならないのです。その後、妻は仕事を始め、感銘を受けた演劇を地元で上演するために中心となって奔走し、ついにはその公演を大成功させました。そんな妻に対して私を感じるのは、「尊敬」に他なりません。



広岡先生の実体験から生まれた、身近で共感できるお話の中に、奥様への尊敬や家族への愛情が感じられて感動しました。「自分育て」をしたいという、誰もが持っている思いを実現することのできる社会の大切さを改めて感じました。

講演を聞いて

## 第1分科会

### 世界の男女共同参画 ~ 自国における男性・女性の役割 ~

**概要** 周南市在住の外国の方10人による日本語での弁論大会で、テーマは「自国における男性・女性の役割」です。皆さんの在日歴は2か月から3年6か月と幅広く、出身も中国、モンゴル、ベトナムなどですが、それぞれのお国柄を巧みな日本語で紹介していらっしゃいました。そのうち3人の方に、編集委員がインタビューしました。



●市長賞  
ベロニカ ブジェズイノバーさん  
(チェコ共和国・17歳) 在日歴2か月

私は「周南市長賞」に選ばれたチェコ共和国出身のベロニカ・ブジェズイノバーさんにインタビューしました。弁論において、彼女の社会では言葉の世界で物事全てに3つの性別があることが当たり前であることの指摘から始まりました。物の見方にもそのことが徹底しており、性別・性差に起因する社会的摩擦が生じない、言ってみれば自然体で男性・女性間に隔りのない風通しのいい社会生活が成立しているとの印象を与えるものでした。勿論その背景には社会的・経済的安定が控えているようです。父親は長年エンジニアとして家計を維持してきましたが、最近ワインショップ経営に転じられたとのことでした。母親は専ら家庭管理を担当だそうです。チェコでは男・女の役割分担がはっきりしており、「男性→経済的サポート、女性→家事に専念」の構図が鮮明に浮かび上がってきました。明確な性の違いの意識があることが、かえってチェコ社会においてはプラスに働いているようです。「性別役割分業」という言葉が「問題」だとは感じられず、むしろ積極的意味合いさえ感じられるのは、男性・女性が自らの様々な役割を選択し、各自の責任を果たしているのだという自負があるからだとの印象を強く受けました。ベロニカさんに話しかけて驚いたことは、来日僅か数か月なのに日本語が上手であること。母国語を含め、スペイン語・イタリア語・フランス語及び日本語がかなり自在に使えるとの言葉に接し、少々唖然としました。周南市での学校生活について、彼女は男生徒・女生徒の間に距離感があり、ちょっとバラバラかな？との感触を抱いているようでした。チェコの学校では両者がいつも一緒に活動しているとのことでした。異文化圏での日常を余裕をもって楽しんでいる様子がうかがえました。(藤本編集委員)



●男女共同参画フォーラム賞  
ソン キジョンさん (韓国・21歳) 在日歴3年6か月

**Q 男女の関係で出身国と日本の違いは？**  
**A** 日本にきてまずびっくりしたのは、結婚している女性が夫を「主人」と呼ぶこと。夫婦の間には上も下も無く、対等・平等だと思う。また、日本では仕事をしている女性が多いことにも驚いた。韓国では、結婚して子育てをしている女性は家庭にいたいという考え方が一般的。  
**Q 今後韓国では男女の関係が変化していくと思いますか？**  
**A** もっと社会に出て働く女性が増えていくと思います。  
**Q 結婚したら、どんな家庭を作ろうと思いますか？**  
**A** 経済的な責任は自分がしっかりと担いたい。女性は子どもにとって、とても大切な存在なので、やはり子どもが小さいうちは家庭に居て欲しいと思います。でも、もちろん自分も家庭内の仕事は分担して担いたいと思います。家族を愛すれば、手伝うのは当たり前のことだと思っています。



●国際ソロプチミスト徳山賞  
ミルテ ボンガーシさん (オランダ・16歳) 在日歴2か月

**Q 男女の関係で出身国と日本の違いは？**  
**A** 日本は学校の体育などは男女別々に授業が行われる。また映画に行くなど遊ぶ時も別々に行っている。オランダでは男女がもっと一緒にいろいろな事をします。  
**Q オランダや日本のことなどなんでも**  
**A** 我が家はお父さんが教師でお母さんは専業主婦だが、仕事を持っているお母さんもいるし、短い間だけ働くお母さんもいます。専業主夫のお父さんも少しいます。我が家は専業主婦なので、洗濯や掃除はお母さんがします。お父さんもたまにはするし子どもも遊んでくれます。オランダの友達には会いたいですけど、日本にも友達が多かったので寂しく…ないです。

## IN 徳山大学

「じょいんと」編集委員が取材に行ってきた。



## 第2分科会

### 日本への想い ~ 「台湾人生」にみる絆 ~

「すまいるネット周南」(周南市男女共同参画市民ネットワーク)による企画運営

**概要** 周南市出身で映画「台湾人生」を制作された酒井充子監督をお迎えしての講演座談会。会場には徳山大学と学術交流を行っている、台湾国立高雄餐旅大学の潘江東副学長と施文華教授も参加され、台湾の紹介や日本の感想等を述べられました。座談会では、会場いっぱい参加者からたくさんの発言がありました。

### ●酒井充子監督さんにインタビュー●



**Q** 映画「台湾人生」制作についてお聞きました。  
**A** この作品は台湾の方に「今の日本人に対して伝えたいこと」を聞く、という形を取りました。お話しを伺った方が語られる、日本統治時代の当時の教師に対する尊敬の気持ちにとっても感銘を受けました。

**Q** 「台湾人生」を現地で上映された様子はいかがでしたか。  
**A** お年寄りの方は「(台湾の)今の若い人に見せたい。」と、その子どもたち世代は「もっと親の話を聞いておけばよかった。」若い方は「中国の歴史しか習っていない。」と言われます。

**Q** 次作品については？  
**A** 引き続き日本語世代の方を取材したいと準備中です。なぜなら日本語世代の方の高齢化で、あまり時間が残されていないから。貴重な証言を後世に伝えなくてはという使命を感じています。

**Q** 男女共同参画社会についてのお考えをお伺いします。  
**A** 「男女共同参画」と取り立てて言わなくて済む、その言葉自体がなくなるような世の中にしていかなければいけないと思います。仕事にしても「男女」ではなく「向き不向き」で判断するものだと思います。映画監督という職業の中では男女の区別は全く無いです。また、台湾では女性の就業は当たり前のことです。

**Q** 最後に本日の講演会について一言。  
**A** 台湾について多くの方に知っていただきたいですね。自分は台湾の伝道師だと思っています。

酒井監督には講演前のお忙しい時間にもかかわらず、編集委員の質問に丁寧にお答えいただきました。その真摯な姿勢と素敵な笑顔に、台湾の方も心を開かれるのでしょうか。次作品も期待しています。ありがとうございました。



「すまいるネット周南」の皆さんと

## 第3分科会

### 災害…その時！どう備える ~ 地域防災活動を元気にさせる女性の力 ~

**概要** 3人のパネリストによる、それぞれの立場や活動を通しての事例発表と活動紹介がありました。その後会場の参加者や県・市の防災担当者からの意見交換が活発に行われました。大学生も積極的に意見を発表していました。

コーディネーター NPO法人ぼうぼうネット事務局 山崎隆弘さん  
パネリスト 周南市自主防災会会長 田村勇一さん  
桜木地区民生委員児童委員 松下法恵さん  
防府市聴覚障害者災害対策協議会事務局 峯石明子さん





# 周南市のまちづくりは「もやい」の心で!

「もやい」…共同でひとつの事をしたり、ひとつの物を利用したりすること。「○○を兄弟姉妹でおもやいする。」という使い方をします。

もやい結び



木村市長さんにお聞きしました。



## 市長さんのワークライフバランス

ワークライフバランスについてお聞きする際、市長さんご自身の生活(人生役割)について考えていただきました。現在の生活と理想とする生活を思い浮かべて、その中でそれぞれの役割がどの程度占めているか、合計を100として記入していただきました。→「人生役割の考え方」について詳しくは6ページの記事を読んでね。

【人生役割】	現在	→	理想
1. 学ぶ人	[ 18 ]		[ 20 ]
2. 余暇を楽しむ人	[ 0 ]		[ 20 ]
3. 市民	[ 1 ]		[ 20 ]
4. 職業人(仕事)	[ 80 ]		[ 20 ]
5. 家庭人(育児、介護)	[ 1 ]		[ 20 ]

市長「現在は99パーセント仕事かも。理想は生涯現役でバランスよく、ですね。」

## ◆毎日のお弁当は奥様の手作りだそうですね。

妻のお弁当は美味しいんですよ。中でも好きなのは、「卵焼き」と「海苔だんだん」です。これはいつもリクエストして作ってもらっています。



「海苔だんだんのお弁当」



## ◆市長さんが進められているまちづくり等の取り組みで、男女共同参画社会の実現についてはどのように考えていらっしゃいますか？ (渡邊編集委員)

私がまちづくりにおいて一番大切にしているのは、一人ひとりの「居場所」が絶対必要だということです。市民一人ひとりが輝き活躍できる、笑顔の絶えない周南市にしたいと考えています。違いを認めあいながらお互い仲間同士として力をあわせまちづくりをする、まさに男女共同参画社会の考え方と一緒に進んでいってほしいです。男女がそれぞれ特性を出し合え、良きパートナーとして支えあえることが大切ですね。

## ◆財政状況が厳しい中、もっとマンパワーを活用する必要があるのではないのでしょうか。世界的に見ても日本は女性が活躍していない。(注①) これではもったいないのでは。当市の女性職員の登用とあわせてお聞かせください。(藤本編集委員)



市役所の女性の管理監督者(係長以上)は20.7%(H23.4.1現在)で、目標数値は達しています。私は以前県議を務めていた際、香港に視察に行きましたが、政府をはじめとしてさまざまな機関でたくさ

んの女性幹部が活躍していることに驚きました。女性は優秀だと感じましたね。得意不得意は男女によらずありますが、女性も実力は十分持っておられるので、もっと活躍してもらいたいと考えています。

鹿野にある二所山田神社の宮司の宮本公胤さんと時々お話していますが、公胤さんの祖父に当たる宮本重胤さんが、明治時代男尊女卑の思想が強かったときに「男女に関係なく能力を生かすことが大切」と提唱された「男尊女尊」の考え方が好きですね。重胤さんは「敬神婦人会」を結成し、機関紙の「女子道」を発行されましたが、これは、平塚雷鳥の「青鞥」創刊より早かった。現在この宮本重胤さんの考え方を全国発信できないかと考えているところです。

## ◆女性の就労者や共働き世帯が増えることで「就業と子育てや介護との両立支援」や「ワークライフバランス(仕事と生活の調和)」の推進が求められているところですが、どのように考えられますか。また、市の取り組みとしてはどのようなものがありますか？ (古木編集委員)

市の取り組みとしては、保育園などで実施している様々な保育サービスや介護事業のサービスの充実ですね。また民間の会社でも保育施設を用意して両立支援に取り組んでいるところもあります。

特に子育て支援では、ファミリーサポートセンターのシステムは、お互いが助け合うということで良い制度だと思っています。センターの提供会員には女性だけでなく男性も登録しておられるようですし、また周南市ではありませんが、現役をリタイヤした男性も保育士として活躍されているとお聞きしたことがあります。シニア世代が子育てに参加するというのは、昔の大家族の中では当たり前で私も祖父母や地域のおじさんおばさんなど、母親だけでなくみんなに育ててもらったと思っています。このようなことも子育てに対する強い応援になっていると思います。

## ◆大抵の家庭では、父親が家事育児をするのは、「手伝ってあげる」「やってあげる」といった状況だと思いますが、もっと積極的に関わってほしいと思っています。(藤井編集委員)

私自身あまり関わっていなかった反省も含めて、積極的にやっていただきたいと思っています。私の子育ての中では、いろいろなことを一緒に体験したことが思い出に残っていますね。秋吉台親子洞窟探検や光の青年の家では、カヌーに乗って魚釣りをしてキスゴのひらきまで造りましたよ。

先日「食農フェスタ in 周南」で食と命を考える勉強会に参加した際、山口県立大学の男子学生が2人参加していて、将来目指している職業を聞いたところ家庭科の先生になりたいと言っておられたのが印象的でした。男性の介護士、看護師も増えてきており、特に抵抗も感じないのは男女共同参画の考え方が浸透してきたということではないでしょうか。

## ◆ご家庭で料理はされますか？得意料理を教えてください。(村上編集委員)

独身の頃は、おでん、鍋物、カレーライスなど作っていたかな。結婚してからは妻の料理が美味しいので自分では作らなくなったですね。

先ほど話しに出た食農フェスタで、食事を自分で作るということで「今日からやる人」と言われ「はい」と元気よく手を挙げました。その日家に帰って、やらせてもらったのが鍋に入れるきし麺洗いでした。得意料理は「きし麺洗いでよろしいですか(笑)」

## ◆最後に、周南市の男女共同参画をこれからどのように進めていかれるのでしょうか？ (村上編集委員)

「周南市男女共同参画基本計画」(すまいるプラン周南)に基づいて、毎年度取り組みの検証を行いながら庁内あげて取り組んでいきます。それと同時にじょういんと編集委員の皆様方のように、男女共同参画の推進に取り組んでいただいている市民の方の協力は欠かせないですね。市民と行政が協力して、男女共同参画社会に向けての空気を醸成していくということが大切だと考えています。男女共同参画は当たり前というものにしていかなくてははいけません。

ところで、私は最近「もやい」という言葉をよく使っています。「もやい結び」という結び方をご存知でしょうか。結ぶと容易に離れない。英語では share with others「分かち合う」と work together「共に進む」の意味があります。男女共同参画社会にもピッタリの言葉だと思います。

## ◆編集委員

今日は市長さんに公私にわたった質問にお答え頂きました。和やかな雰囲気の中、とてもフレンドリーな市長さんだと感じました。これからの周南市のまちづくりに期待しています。私たちも情報誌づくりに「もやい」の想いを込めたいと思います。本日はありがとうございました。



(注①)

GEM ジェンダー・エンパワメント指数			GGI ジェンダー・ギャップ指数		
順位	国名	GEM値	順位	国名	GEM値
1	スウェーデン	0.909	1	アイスランド	0.8496
2	ノルウェー	0.906	2	ノルウェー	0.8404
3	フィンランド	0.902	3	フィンランド	0.8260
4	デンマーク	0.896	4	スウェーデン	0.8024
5	オランダ	0.882	5	ニュージーランド	0.7808
9	ドイツ	0.852	13	ドイツ	0.7530
12	カナダ	0.830	15	英国	0.7460
15	英国	0.790	19	米国	0.7411
17	フランス	0.779	20	カナダ	0.7372
18	米国	0.767	45	ロシア	0.7036
21	イタリア	0.741	46	フランス	0.7025
57	日本	0.567	61	中国	0.6881
60	ロシア	0.556	74	イタリア	0.6765
61	韓国	0.554	94	日本	0.6524
72	中国	0.553	104	韓国	0.6342

「男女共同参画社会の実現を目指して」(内閣府男女共同参画局)より

(注②) ※ファミリーサポートセンター／子どもの一時預かりをお願いしたい依頼会員と、預かって子育てのお手伝いをする提供会員による育児の相互援助を支援します。

# 「ワーク・ライフ・バランス」(仕事と生活の調和)

ワークライフバランスは「仕事上の責任を果たしながらも、家庭や地域活動、あるいは子育て期や中高年期などの段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」へのキーワード。皆さんのライフとワークのバランスはいかがですか？調和はとれていますか？ライフのなかでワークがほとんどを占めていませんか？

もちろんワークはライフの大切な一部です。でも、仕事以外にも、家族や友人、趣味や余暇、健康づくり、勉強、地域活動などそれぞれ大切にしたいことがたくさんあります。そんな「大切にしたいこと」がライフの中でバランスよく取れる社会を目指していきたいと思えます。

## ■ワークライフバランス実現のために！

男性も女性もあらゆる世代の誰もが、仕事や子育てなど自分の希望するバランスで生活するために、働き方の見直しや意識改革を図ることが求められます。職場で、家庭で、そして地域でも「自分」と「周りの人達」が、それぞれの立場や事情を理解し協力しあうことが必要です。もちろん責任を果たす必要もあります。職場では、コミュニケーションやチームワークを大切にしましょう。家庭では家族と過ごす時間やお互いを思いやる気持ちを大切にしましょう。また企業や事業所、自治体でも、子育て支援や両立支援などワークライフバランスの推進のために様々な取り組みが行われています。

## 男女共同参画・企業職場ふれあい人権セミナー

平成 23 年 9 月 27 日(火)周南市市民館小ホールにおいて、ワークライフバランスについてのセミナーが開催されました。

- \* 演題 「ワークライフバランスとは…」  
～あなたの生き方、働き方の多様性を理解しよう～
- \* 講師 土井文子先生(特定社会保険労務士)
- \* 内容

労働局均等室で従事された育児両立支援職場環境整備コンサルタントや、現在の労務事務所での経験を活かされたお話しで、具体的な事例も多く紹介されました。



講演中、生活の中での役割(人生役割)について考える時間がありました。あなたの人生役割をどの程度重要と考えているか下表に全体が100になるように数値を入れてみましょう。

5年後、10年後についても理想の生活を想像して、同じように入れてみてください。

## あなたの人生役割は？



今の生活を振り返るきっかけとなり、目指す将来の人生役割がみえてくるよ。

## 受講者の感想を紹介 します(アンケートより抜粋)

- ・私もモチベーションを高く持って生活していきたいなと、ますます思うようになりました。
- ・制度について基本的なことは分かっていたが、事例を何うことで活用するという考え方がなりました。

- ・仕事(職場)と家庭のバランスを具体的にどう考えるかの機会になった。
- ・知っていたようで知らない、当たり前のように当たり前でない話でした。勉強になりました。
- ・企業の改革がもう少しあれば、もっと若者が自然に(ワークライフバランスが実現)できると思えます。

【人生役割】	現在	→	5年後、10年後
	現在	→	理想
1. 学ぶ人(学生)	[ ]	[ ]	[ ]
2. 余暇を楽しむ人	[ ]	[ ]	[ ]
3. 市民	[ ]	[ ]	[ ]
4. 職業人(仕事)	[ ]	[ ]	[ ]
5. 家庭人(育児、介護)	[ ]	[ ]	[ ]

# 「周南市男女共同参画推進員」です。

私たち推進員は、「男性も女性もお互いに個性と能力を発揮できる男女共同参画社会」の実現に取り組んでいます。新しく7人のメンバーが、楽しみながら、また自分たちも勉強しながら活動しています。

## 推進員になって、私たちの想い。



青木澄代さん

男女に関係なく、人としてお互いを認め、思い合っていけたら素敵だと思います。「みんながって、みんないい」です。



國田年恵さん

男だから女だからでなく、お互いの持ち味や良さを生かし、補い合いながら協調していければ良いのではと思っています。



松本勝也さん

性別の違いを超えて、技量を認め合い共に助け合うことを思い描いています。絵に書いた餅にならないように頑張らねば…。



山本邦子さん

「優しさを素直に受け取る・差し出せる街です・人です」と言えたら良いね、と思う花見頃…

皆様と共に学び、活動としての第一歩はより多くの方に「男女共同参画」を意識していただくことが目標です。



石田京子さん

「その通りだ」と紙芝居(2ヶ月のお留守番)を見た女性達のうなずきに、「当たり前だ」と言える日が一日も早く実現できるように、男女共同参画を頑張ろうとの思いを新たにしました。



友森淑子さん

家庭内では、まだまだ女性の比重が重いような気がします。家事や子育ても、もう少し男性の理解があってもいいかと思う今日この頃…そう思うと男女共同参画の活動をもっと広めていきたいと思えます。



松本正明さん

## 男女共同参画フォーラム会場で 紙芝居「2ヶ月のお留守番」を上演しました。



紙芝居の上演を出張サービスいたします。お気軽にお申し付けください。

「2ヶ月のお留守番」は推進員が作った啓発紙芝居です。昼食時間を中心に4か所で上演し、たくさんの方に見ていただきました。

- 感想 「良かった、そのとおりだ。」  
(模擬店にて高齢の女性)
- 「絵がすっきりしていて見やすい。内容も分かりやすかった。」  
(学食にて山口市の女性)



申し込みは 周南市男女共同参画室  
TEL 0834-22-8205 まで

# ねえねえ「デートDV」って 知っちよる？

DV(ドメスティック・バイオレンス)という言葉はご存知でしょうか。夫婦間やパートナーなどの親しい間柄での暴力の事を言います。そのDVのうち交際の男女間での暴力はデートDVと呼ばれています。

タカヤとミカの場合

ある日の夜、タカヤの自宅

タカヤ：「ミカは今何をしているのかな？メールしてみよう。  
『今何してる？』っと。  
…返事が無いな。何してるんだろう！」



そして翌日学校で

タカヤ：「おい、何で昨日メールの返事くれなかったんだよ！」  
ミカ：「ごめん、昨日ケータイを友達の家で忘れて…」  
タカヤ：「は？忘れた？俺のメール、無視してたんじゃないのか？」  
ミカ：「そんなことないよ。それに、忘れ物くらいタカヤだってするじゃない！」  
タカヤ：「ムカッ」「ふざけるな！誰に言ってるんだ！」

ミカを突き飛ばすタカヤ。

タカヤ：「俺のメールには返事して当たり前だろ！」  
ミカ：「痛い…」「ごめんなさい…」

リーフレット「知っちよる？デートDV」(山口県)より

## ●「デートDV」ってどんなこと？ DVなんて自分には関係ないよ！

暴力は、殴る・けるなどの身体的なものだけではなく、言葉の暴力や心理的感情的暴力も暴力です。相手を無視する、相手の行動を制約・束縛する、メールを強要したりチェックするなど思い当たることはありませんか。

たとえばこんなことはないかな？ →

ふたりの関係が「対等」ならこんなことは起きないですよ

## ●もしかして、「デートDV」？そんなときには一人で悩まないでね

親、友達、先生など、相談しやすい人に話してみましょう。下記に紹介している相談窓口もあります。また友達や知り合いなどから相談されたら、話を聞いてあげてください。相談窓口がある事も教えてあげてください。

## ●高等学校で「デートDV」公開授業が行われました

周南市では、市内の高等学校にご協力いただいて「デートDV」の公開授業を実施しています。デートDVについて学ぶことにより、自分を大切に自尊と相手を思いやる気持ちを持ち、お互いの人権を尊重できる関係を築いていただけるよう願っています。

生徒の感想を紹介します  
(アンケートより抜粋)

- \*DVをする側は自分が悪いと分かっていないので怖いと思いました。
- \*当たり前と思っていたことがDVだったことに驚きました。自分の気持ちを押し付けるのではなくいい関係を築きたいと思いました。
- \*今後人との関わりが多くなると思うので、相手の事を考えながら自分自身に自信を持って行動していこうと思います。

ひとりで悩まないで  
相談して

どうぞ  
ご相談  
ください



どのような理由があっても、暴力は決して許されるものではありません。それは、パートナーへの重大な人権侵害であることに気付いてください。

配偶者からの暴力に関する相談窓口

配偶者暴力相談支援センター

(山口県男女共同参画相談センター)

- ・相談専用ダイヤル ☎083(901)1122
- ・DVホットライン ☎0120-238122 (緊急用)

警察レディース・サポート110 (24時間対応)  
(フリーダイヤル) ☎0120-378387

(携帯電話から) ☎083(932)7830

最寄りの警察署

- ・周南警察署 ☎0834(21)0110
- ・光警察署 ☎0833(72)0110

山口地方法務局周南支局 ☎0834(28)0244

こども家庭相談室 ☎0834(22)8452

DV相談ナビを開設

ここに電話

0570-0-55210 (有料)

配偶者からの暴力(DV)に悩んでいる人に相談窓口を案内する専用ダイヤルを内閣府男女共同参画局が開設しました。自動音声案内に従い、居場所を指定すると、配偶者暴力相談支援センターなど登録されている相談窓口の中から、最寄りの相談先の電話番号や相談受付時間などが紹介されます。(検索方法は下記)

自動音声案内による検索方法

- ①郵便番号検索：郵便番号の上3桁を入力
- ②地域区分検索：ガイダンスに従い都道府県の別を指定

編集後記

今回も私が勉強するばかりの「じょいんと」でした。みなさんのおかげで頑張っています(^\_^)v 次号も楽しみです♪

藤井 美里

今回の「じょいんと」誌は、届けたい想いが盛り沢山になり、思わず文字が小さくなりすぎた所があります。読みづらかったらごめんなさいです！

藤本 隆春

今回の私のキーワードは「ワーク・ライフ・バランス」。5年後、10年後、心に余裕をもって有意義に…できていたら、いいなo(\*^\_^\*)o 海苔だんだんの弁当、作ってみよう♪

古木 緑

市長さんへのインタビューでは、編集委員ということをお忘れして楽しんでしまいましたが、貴重なお話しの中から学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思っております☆~

村上小百合

年々、少しずつではあっても社会に浸透してきた男女共同参画の思い。留学生のみなさんや、酒井監督、そして市長さんのお話を伺って、今後ますます、様々な分野や場所で、もっと深く広がっていきなると思えました。「もやい」の心、とっても素敵なお考えです。「おもやい」の、なんて懐かしい響き！周南市から全国に、あらためて流行らせましょう♪

渡邊 良子

問い合わせ先

〒745-8655 周南市岐山通1-1 周南市人権推進課男女共同参画室

☎0834(22)8205 ☎0834(22)8468 Eメール jinken@city.shunan.lg.jp